

## 磐城高校の通学路

通学路で大きな事件が起きてしまった。川崎市の登戸の事件である。こんなことが起こるとは、夢にも思わなかった池田小事件から以後、もしかしたら可能性があるかもしれないというリスク・マネジメントは想定内であるものの、現実として登校時の通学バスに乗ろうとする19人もの小学生を含む人間を殺傷するという事は、現実として受け止めがたい。

秋葉原の通り魔事件や、池袋の通り魔事件など、起きるごとに不安と緊張が高まるこんな事件は、どうしたら防げるのか、とても心が真っ暗になってしまう。

翻って、毎日、登校時の生徒たちを見て通う磐城高校の通学路だって、危険がいっぱいである。八幡小路は、今や、通勤の車でごった返しており、一方通行でない分、生徒の傍をすれすれに50キロぐらいで飛ばしていく車も毎日何台もあるのである。

磐城ナンバーばかりではなく、仙台ナンバーや郡山ナンバー、香川ナンバーなど、他県ナンバーも相当通って行くのである。49号線の混雑を回避する抜け道になってしまったのである。

時間指定や、一方通行にさせていただき話し合いを始めるべきだろう。いわき中央署に相談する時期だろう。事故や事件が起きてからでは遅いと考える。

以前、朝から不審車が良く停車していた時期もあった。女性の一人通学や下校を注意していた時期もあった。今でこそ、不審車には注意し、メモを取り、何かあったら個人を特定できるようにしているが、それであっても、突然どこからか訪れる悪意に満ちた人を阻止できるかは大きな課題である。

教職員が組織的に見回っていても、ボランティアの人々の好意によって交通指導をおこなってもらっていても、どこまで不審な行為を阻止できるかは、未知数な部分があり不安なことです。

とにもかくにも、警察や行政を始めいろいろな組織と連携すべきでしょう。昔のような猛者が集まった屈強な生徒ばかりではなく、八幡様の鳥居も車道から歩道に移動したので、車が走りやすくなっているのは事実です。ので、早々に対応を考えていかなければならないことです。小学校や中学校とも連携していきます。

何かありましたらお手伝い願えればありがたいと思います。よろしく願います。

